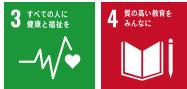


□要請番号 (JL61825B10)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
マダガスカル	G182 小学校教育	20~45 歳のみ	個別	交替 4代目	2年	・2026/3・2027/1



【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

国民教育省

2) 配属機関名（日本語）

ベタフ郡学区事務所

3) 任地（ヴァキナンカラチャ県ベタフ郡ベタフ市）JICA事務所の所在地（アンタナナリボ市）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（バスで約4.5時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は、国民教育省の出先機関で、ヴァキナンカラチャ県教育事務所(DREN)の傘下のもと、郡内の教育行政を統括する学区事務所(CISCO)である。総務系、インフラ管理、授業計画、研修等の9部署があり、郡内16の地区に教育事務所(ZAP)を設置し、小学校253校、中学校20校、高校6校を管轄している。年間予算は約400万円。同県は、JICA技術協力プロジェクト「みんなの学校:住民参加による教育開発プロジェクト」の対象県となっている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

国民教育省は教育分野の開発計画(PSE 2018-2022)において、アクセスの向上、教育の質の改善、ガバナンス強化を柱に政策を進めており、就学率は改善傾向にあるものの都市部と農村部の格差が大きく、初等教育の修了率は約6割と課題が多い。また、コミュニティが雇用する、教員養成課程を経ていない無資格のコミュニティ教員(FRAM教員)が6割以上を占めており、教員の質も大きな課題の一つである。同配属先にはこれまで看護師隊員や青少年活動隊員(前任者)を派遣し、保健衛生教育や、文化推進センター(CLAC)でのアクティビティ、日本文化紹介等を通した地域の余暇活動の活性化に寄与してきた。今後は小学校での授業の質改善も含めた支援の要望があり、本要請に至った。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

現地の小学校やCLAC等を巡回し、自身の得意な分野を活かしながら、以下に挙げるような活動を行う。

- 現地教員と協力して算数、図工、理科、体育等の教科の指導支援を実施する。
- 小中学校において、学校環境調査(掃除の実施状況、水場やトイレの有無等)を行い、衛生環境改善に向けたアイディア提案、保健衛生啓発(手洗い、歯磨き、掃除の励行等)、環境教育(ゴミ問題等)を実施する。
- CLACにおいて、アクティビティの提案やイベントの企画支援、日本文化・遊び紹介等の余暇活動の充実に向けた支援を行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

机・椅子及び過去の隊員が作成した、算数・手洗い・栄養啓発等の教材も利用可。

学校では、黒板とチョークは使用可能だが、その他の教材・教具は、任地にあるものを工夫して活用する。

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:

学区事務所長:40代男性

指導主事、プログラム担当、各課の職員、秘書等の常勤職員(10-15名程度)

活動対象者:対象となる各学校長、教員、児童(1クラス
20~60人程度)、地域の青少年

5) 活動使用言語

マダガスカル語

6) 生活使用言語

マダガスカル語

7) 選考指定言語

言語問わず(レベル:D)

【資格条件等】

[免許/資格等]： (教諭免許 (校種・教科不問))

[学歴]： () 備考：

[性別]： () 備考：

[経験]： (指導経験) 2年以上 備考：教員に助言するため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]： (温暖冬季少雨気候) 気温： (1~30°C位) [電気]： (不安定)

[通信]： (インターネット可 電話可) [水源]： (不安定)

【特記事項】

- ・派遣前語学訓練では公文書等で使用されるフランス語、現地語学訓練ではマダガスカル語を学習する(共に公用語)。
- ・県農業・畜産局(活動地はベタフ市)にコミュニティ開発隊員が2025年9月から活動開始。

【類似職種】

- ・青少年活動

※活動内容が類似している要請が含まれる職種を表示しています。職種に拘らず要請内容でもご検討ください。